

## ラテン・アメリカ政経学会第 58 回全国大会

The 58th Annual Conference, Japan Society of Social Science on Latin America (JSLA)  
 “Latin American Thoughts on Development Revisited: in Search of a New Paradigm Shift”

プログラム / Program (2021 年 10 月 20 日版 / Version Oct 20, 2021)

日時:2021 年 11 月 13 日(土)・14 日(日) / Date: November 13-14, 2021

場所:オンライン / Venue: Online

主催:ラテン・アメリカ政経学会 / Host: JSLA

11 月 13 日(土)		11 月 14 日(日)	
		8:00-9:30	★ <sup>2</sup> Special Plenary Session: <i>Latin American Thoughts on Development Revisited: In Search of a New Paradigm Shift</i>
11:00-12:00	理事会	10:00-12:00	パネル「現代ラテンアメリカ経済論の教材作成」
13:00-15:00	自由論題報告①	13:00-14:30	自由論題報告②
		14:30-15:30	総会
15:00-17:00	☆フォーラム「コロナ時代における市民社会の役割と課題」	15:30-18:00	☆シンポジウム「市民が求める国家像」
18:00-20:00	★ <sup>1</sup> Invited Keynote Lecture <i>Inequality in Latin America: What it Means for Theory and Policy</i>		
20:00-	懇親会		

★印のセッションは上智大学イベロアメリカ研究所と共催のウェビナー形式で開催されます。会員、非会員ともに、参加には、それぞれ前々日正午までの事前登録が必要です。★<sup>1</sup>のセッションは 11 月 11 日(木) 12:00、★<sup>2</sup>のセッションは 11 月 12 日(金) 12:00 までの登録をお願いします。

The Webinar sessions (★) cosponsored by the Iberoamerican Institute of Sophia University and JSLA are open to the public. Both member and non-member of JSLA needs registration for attendance by November 11, 12:00 (JST) for Keynote Lecture (★<sup>1</sup>) and November 12, 12:00 (JST) for Special Plenary Session (★<sup>2</sup>).

☆印のセッションには非会員も参加できます(11月12日(金)12:00までの事前登録が必要です)。

Two other sessions (☆) are open to the non-members of JSLA with registration by November 12, 12:00 (JST).

11 月 13 日 (土) / Nov. 13

---

13:00-15:00

---

◆自由論題報告①

司会 松本八重子(亜細亜大学非常勤講師・上智大学非常勤講師)

浦部浩之(獨協大学)「米州協調の分岐点となった 2009 年ホンジュラス政変」

\*討論者:舩方周一郎(東京外国語大学)

山岡加奈子(アジア経済研究所)「キューバ革命体制への移行:成功要因」

\*討論者:森口舞(名城大学)

笛田千容(駒澤大学)「危機に立つエルサルバドル司法」

\*討論者:Nancy Alas(同志社大学)

---

15:00-17:00

---

◆フォーラム「コロナ時代における市民社会の役割と課題」(大会実行委員会企画)

司会 受田宏之(東京大学)

猪岡愛佳(フェアトレード企業 JOËL 代表)JOËL 代表)「格差社会におけるエンパワメントを目指して  
-ボリビアとチリとのフェアトレードの取り組み」

楊殿閣(ソリダリダード・ジャパン事務局長)「マルチセクターの連携による持続可能なサプライチェーンの  
構築-国際 NGO ソリダリダードの取り組み」

山本純一(慶応義塾大学名誉教授・フリースクール「大地の大学」代表)「「大地の大学」と10年後の  
ATAMI 構想—スペインとメキシコの事例からまちづくりを学ぶ」

---

18:00-20:00

---

◆招待講演 Invited Keynote Lecture

*Inequality in Latin America: What It Means for Theory and Policy*

by Dr. Diego Sánchez-Ancochea (Head of the Oxford Department of International Development,  
University of Oxford)

- Welcome Speech: Hiroyuki Tani (President of JSLA, Director of Iberoamerican Institute, Sophia University)
  - Moderator: Noriko Hataya (Sophia University)
- 

20:00-21:00 (予定)

---

◆懇親会 (ウェブ開催)

11 月 14日(日)/Nov. 14

---

8:00-9:30

---

◆特別企画セッション Special Plenary Session

*Latin American Thoughts on Development Revisited: In Search of a New Paradigm Shift*

Honorable Keynote speaker: Dr. Alicia Bárcena (the Executive Secretary of the Economic Commission for Latin America and the Caribbean/ ECLAC)

- Opening remarks: Hiroyuki TANI (President of JSLA, Director of Iberoamerican Institute, Sophia University)
- Discussants:  
Ms. Maki Kobayashi (Director-General, Latin America and Caribbean Affairs Bureau Ministry of Foreign Affairs.)  
Nobuaki Hamaguchi (Kobe University)  
Michiko Iizuka (National Graduate Institute for Policy Studies)
- Moderator: Yoshiaki Hisamatsu (Toyo University)

---

10:00-12:00

---

◆パネル「現代ラテンアメリカ経済論の教材作成」

司会:清水達也(アジア経済研究所)

清水達也(アジア経済研究所)

北野浩一(アジア経済研究所)

浜口伸明(神戸大学)

谷洋之(上智大学)

久松佳彰(東洋大学)

\*討論者:竹下幸治郎(拓殖大学)、咲川可央子(青山学院大学)

---

13:00-14:30

---

◆自由論題報告②

司会 田中高(中部大学)

内山直子(東京外国語大学)「メキシコ自動車産業における日系企業進出ブームの終わりとコロナ禍の影響」

\*討論者:北野浩一(アジア経済研究所)

近田亮平(アジア経済研究所)「ブラジルの性的マイノリティをめぐる権利保障」

\*討論者:宇佐見耕一(同志社大学)

---

15:30-18:00

---

◆シンポジウム「市民が求める国家像—政治不信下のラテンアメリカ社会を展望する」

司会 安井伸(慶応義塾大学)

パネリスト

三浦航太(東京大学)「チリ:補完性原理から社会保障へ:国家・政治・市民社会関係の再編の動き」

宮地隆廣(東京大学)「エクアドル:2021年の政権交代が意味するもの」

磯田沙織(神田外語大学)・岡田勇(名古屋大学)「ペルー:国政と地方政治の連関」

子安昭子(上智大学)「ブラジル:民主化35年が問いかけるもの」

幡谷則子(上智大学)「コロンビア:和平合意後深まる社会の分断」

\*討論者: 受田宏之(東京大学)、上谷直克(アジア経済研究所)

※各報告・パネル・シンポジウムのペーパーや要旨の公開は、11月初旬を予定しています。学会 ML ならびにホームページ上でのご案内までいましばらくお待ち下さい。